

文書館の
逸品展

絵はがきが 切り取る 徳島名所



令和5年

4月25日(火)~7月30日(日)

徳島県立文書館
2階展示室

午前9時30分~午後5時

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
毎月第3木曜日

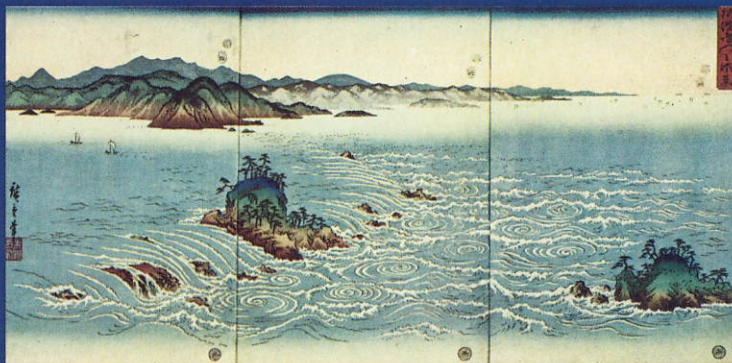
入場
無料

展示解説

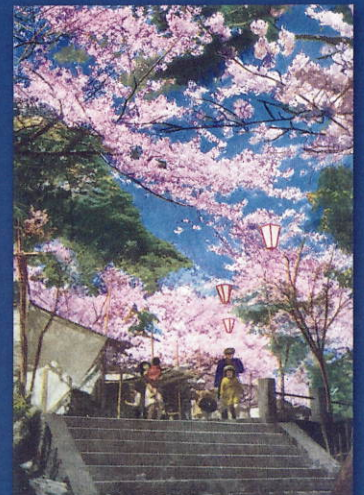
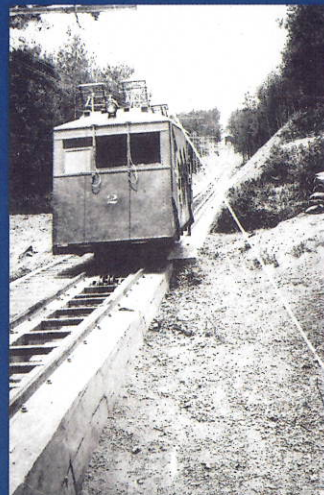
担当職員によるやさしい解説

5月11日(木)・6月4日(日)・7月17日(月・祝)

時間:午後1時30分~ 会場:文書館2階講座室・展示室



版画 阿波鳴門風景(三枚続)安藤広重 江戸時代
Straits of Naruto, wood-block prints by Ando Hiroshige, Edo.



文化の森総合公園
徳島県立文書館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL.088-668-3700/FAX.088-668-7199
<https://archive.bunmori.tokushima.jp/>

「絵はがきが切り取る
徳島の名所」によせて



旅行先から出した一枚の絵はがきや、お土産として購入した絵はがきが旅行先の印象を強く残すことはないでしょうか。絵はがきは旅行先の名所や名物の印象を伝えるために絵画や写真が主役となつて構成されたものであり、人々がごく当然に写真を撮影する今でも、観光地を中心に広く販売されています。

今春の文書館逸品展では、こうした絵はがきを多数収集していた鳴門市高島の故岩村武勇氏の資料から、明治後期から昭和にかけて、徳島の代表的な観光名所や名物に関する絵はがきを取り出して紹介いたします。そこには今も変わらずに残されていたり、大きく変わったり、もう失われた徳島の名所などの姿があります。

この展示を通じて古き良き徳島の名所・名物の姿を知ってもらうことができればと思います。

また、この展示で紹介できる岩村家旧蔵の絵はがきはほんの一部です。ほぼ同時期に「とくしまデジタルアーカイブ」で公開した岩村家の徳島に関する絵はがきは七百枚。一枚一枚をご自宅のパソコンでじっくり鑑賞することができます。あわせてご利用いただければ幸いです。

令和5年4月25日

徳島県立文書館長 金原祐樹



◇観光の徳島◇ 徳島名物 阿波踊り VIEW OF TOKUSHIMA



徳島の国勢調査宣伝踊り

阿波踊り

〈観光の徳島〉

徳島名物 阿波踊り

(阿波池田 戎屋号本店 発行)

徳島の国勢調査宣伝踊り

(徳島市西新町小山助学館発行)



徳島県庁

〈阿波十二景之内〉

徳島県庁

(徳島市西新町小山助学館発行)



徳島城之遺影

徳島城之遺影

(徳島市西新町小山助学館発行)

史跡



徳島 四国一を誇る徳島市立動物園

四国一を誇る徳島市立動物園

(鳴門市岡崎 林商店 発行)



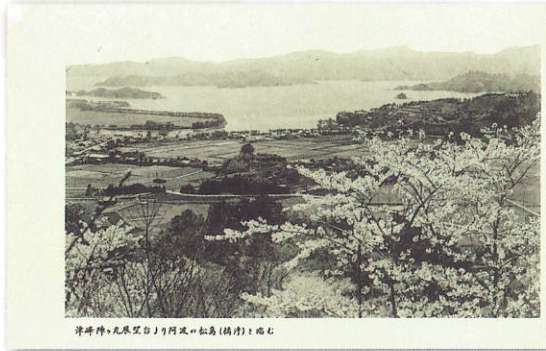
江川遊園地 西橋より水月亭及太鼓橋の遠望 VIEWS OF EGAWA

江川遊園地

西橋より水月亭及太鼓橋の遠望

(江川遊園地保勝会 発行)

憩いの場



津峰の桜と橘湾



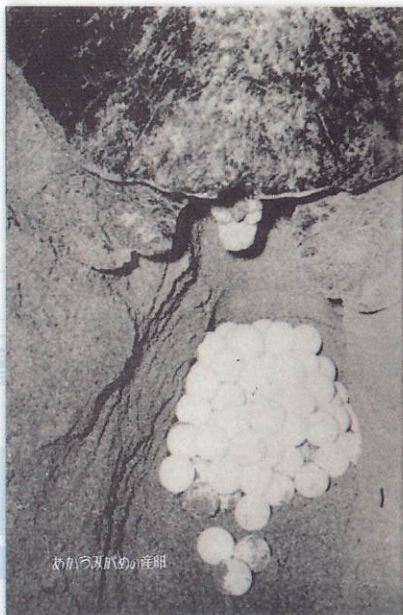
〈徳島景観〉
金比羅神社の桜
(徳島商工会議所 発行)



〈観光の徳島〉
東洋一の吉野川橋
(阿波池田 戎屋号本店 発行)



三好橋
東洋一吊橋
(阿波池田 戎屋号本店 発行)



あかうみがめの産卵
(徳島県教育会 発行)



〈阿波十二景之内〉
津田港
(徳島市西新町小山助学館 発行)



商店街



〈徳島八景〉

銀座街

徳島市銀座街の一部
(阿波 戎屋号本店 発行)



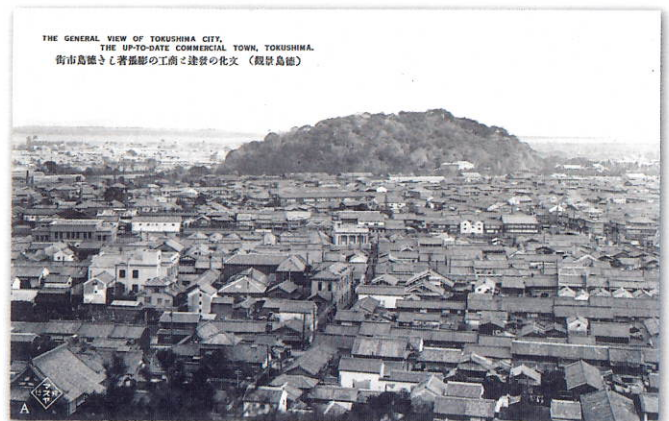
〈徳島観光記念〉
新町筋商店街
殷盛を織る

全景



池田町新道通

(阿波池田 戎屋号本店 発行)



〈徳島景観〉徳島市街

(マस्या発行)

文書館の逸品展
絵はがきが切り取る徳島の名所

編集・発行 徳島県立文書館
〒七七〇一八〇七〇 徳島市八万町向寺山
電話：〇八八(六六八)三七〇〇

印刷 星印刷株式会社
〒七七〇一〇九三六 徳島市中央通二丁目一九
電話：〇八八(六五二)七五〇八

令和五年四月二十五日 発行



牟岐町中心街
栄えゆくよ青海めぐりて
(前田印刷所 発行)